

災害の概況

(平成26年)



鳥取県西部広域行政管理組合
消防局

目 次

(ページ数)

災害概況について	1
I 火災概況	3
1 火災の現況と最近の動向	3
別図 I - 1 火災件数の推移と傾向図	3
別表 I - 1 火災総括表	4
2 出火状況	5
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	5
別図 I - 3 月別の火災種別ごと出火件数	5
別図 I - 4 市町村別火災件数と構成比	6
3 火災による死傷者の状況	6
別表 I - 2 火災種別死傷者発生状況	6
4 出火原因	7
別図 I - 5 火災種別ごとの主な火災原因	7
別表 I - 3 市町村別火災状況	8
別表 I - 4 過去5年間の市町村別火災件数	9
II 救急概況	10
1 救急出動件数、救急搬送状況	10
2 市町村別救急活動状況	10
3 傷病程度別搬送状況	10
4 年齢別搬送状況	10
5 署所別救急活動状況	10
6 月別救急活動状況	10
7 現場到着所要時間、収容所要時間	10
8 応急手当実施状況	10
9 高度救命処置状況	10
10 救急講習件数の推移	10
11 市町村別救急活動の推移	10
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	11
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	11
別図 II - 3 過去5年間の救急推移	12
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	12
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	13
別図 II - 6 年齢別搬送状況	13
別図 II - 7 署所別救急活動状況	14
別図 II - 8 月別救急活動状況	14

別図Ⅱ－ 9	現場到着所要時間	15
別図Ⅱ－ 10	収容所要時間	15
別図Ⅱ－ 11	応急手当実施状況	16
別図Ⅱ－ 12	高度救命処置状況	16
別図Ⅱ－ 13	医師引き継ぎ時の状況	16
別図Ⅱ－ 14	過去5年間の救急講習件数推移	17
別図Ⅱ－ 15	過去5年間の救急講習人員推移	17
別表Ⅱ－ 1	応急手当指導員・普及員の養成	17
別表Ⅱ－ 2	過去5年間の市町村別救急件数	18
Ⅲ	救助概況	19
1	事故種別救助出動状況	19
2	事故種別救助活動状況	19
3	事故種別救助人員状況	19
4	管轄別救助活動状況	19
5	市町村別救助活動状況	19
6	月別救助活動状況	19
別図Ⅲ－ 1	事故種別救助出動状況	20
別図Ⅲ－ 2	事故種別救助活動状況	20
別図Ⅲ－ 3	事故種別救助人員状況	21
別図Ⅲ－ 4	管轄別救助活動状況	21
別図Ⅲ－ 5	市町村別救助活動状況	22
別図Ⅲ－ 6	月別救助活動状況	22
Ⅳ	119番着信概況	23
1	着信件数の推移	23
2	月別の着信状況	23
3	電話種別による通報状況	23
4	携帯電話からの着信状況	23
5	時間帯別119番通報の着信状況	23
別表Ⅳ－ 1	119番着信件数の推移	24
別表Ⅳ－ 2	月別119番着信状況	24
別表Ⅳ－ 3	電話種別による119番着信件数の推移	25
別表Ⅳ－ 4	電話種別による通報状況	25
別表Ⅳ－ 5	携帯電話からの着信状況	26
別表Ⅳ－ 6	携帯電話の消防機関別転送状況	26
別図Ⅳ－ 1	時間帯別着信状況	26

災害概況について

I 火災概況

平成26年中の火災件数は、124件で前年に比べ14件の減少となりました。

建物火災が4件、林野火災9件及び車両火災は1件減少し、その他火災は3件増加しました。

その他火災については、62件のうち2月から6月の5ヶ月間で7割弱の39件が発生しています。

火災件数は前年に比べ14件減少しましたが、焼損床面積は1,181㎡増加となりました。これは、規模の大きな建物火災が多く発生したことによるものです。

建物火災1件当たりの損害額は前年に比べ約9割の増加となりました。

火災による死者は1人で、前年から5人の減少となり過去10年間で最も少ない人数となりました。

負傷者は14人で、前年より4人の減少となりました。負傷者のうち5人が65歳以上の高齢者の方で、7人が消火の際の火傷で負傷しています。

住宅用火災警報器の設置義務化後、住宅用火災警報器が作動し早期に火災に気づいた事例が年々増加しています。

平成26年中は、火災発生時に警報器が作動した事例が6件ありました。

今後とも住民の皆様に対する日頃からの出火防止の啓発、万一火災が発生した場合に延焼拡大を防ぐための防災製品の普及、初期消火の為に住宅用消火器の紹介、並びに住宅用火災警報器が未設置である住宅に対する設置推進及び設置後の維持管理について広報活動をしていくことが重要と考えます。

II 救急概況

救急出動件数は10,036件(18件の増・+0.2%)、救急搬送人数は9,361人(21人の増・+0.2%)で、ともに過去最多となっています。

事故種別ごとの出動件数は、急病6,120件(61.2%)と半数以上を占め、次いで一般負傷1,385件(13.8%)、転院搬送1,228件(12.2%)、交通事故856件(8.5%)の順となっています。

年齢別の搬送人数は、65歳以上の高齢者が5,682人(60.7%)と全搬送人数に占め、今後も少子高齢化の進展に伴い更に割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対して、家族等による応急手当の割合が57%となっています。救急現場では早期の応急手当が救命のチャンスを拡大しますので、住民への心肺蘇生法の普及やAEDの設置が必要不可欠です。

Ⅲ 救助概要

救助出動件数は181件(28件の増・+18.3%)、救助活動件数は117件(26件の増・+28.6%)となっています。また、救助人員は95人(30人の増・+46.2%)です。

事故種別毎の救助出動件数は、交通事故が95件(52.5%)と最も多く、次いで火災が33件(18.2%)、その他の事故が32件(17.7%)、水難事故が8件(4.4%)、機械による事故が6件(3.3%)、建物等による事故が5件(2.8%)、風水害等自然災害が2件(1.1%)となっています。

救助人員では交通事故が最も多く57人(60.0%)、次いで、その他の事故24人(25.3%)、機械による事故が4人(4.2%)の順となっています。

年々、風水害等の規模が大きくなり、甚大な被害が各地で発生しています。被害を最小限にするためには、県内外の消防機関、医療機関、防災機関、国、県及び市町村などとの日頃からの迅速な連携活動が必要不可欠と考えています。

Ⅳ 119番着信状況

119番の総着信件数は13,658件で昨年総件数より204件(1.5%)少なくなっています。事故種別ごとに着信件数を見ますと、火災通報225件(1.6%)、救急通報9,647件(70.6%)、救助通報70件(0.5%)、警戒通報104件(0.8%)、問合せ844件(6.2%)、間違い756件(5.5%)、悪戯114件(0.8%)、訓練等1,898件(13.9%)でした。総着信件数のうち、火災、救急、救助などの災害通報は10,046件で119番着信の約74%を占めています。

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定電話5,836件(42.7%)、IP電話3,397件(24.9%)、携帯電話による通報は4,425件(32.4%)でした。固定電話からの通報の減少、IP電話からの通報は増加傾向にあります。

火災、救助、警戒といった屋外で発生または発見される災害では、携帯電話による通報比率が約62%と高くなり、自宅や屋内などで発生することが多い救急通報は、固定電話とIP電話による通報比率が約70%と高くなる現象が見られます。

携帯電話からの119番通報では、災害発生場所の確定に時間を要する場合がありますが、位置情報通知システムの導入によりGPS機能を備えた携帯電話からの通報は、おおよその位置情報の把握は可能となりました。しかし、機種によっては位置情報の把握が困難な場合もあります。

I 火災概況

(平成26年1月～12月)

1 火災の現況と最近の動向

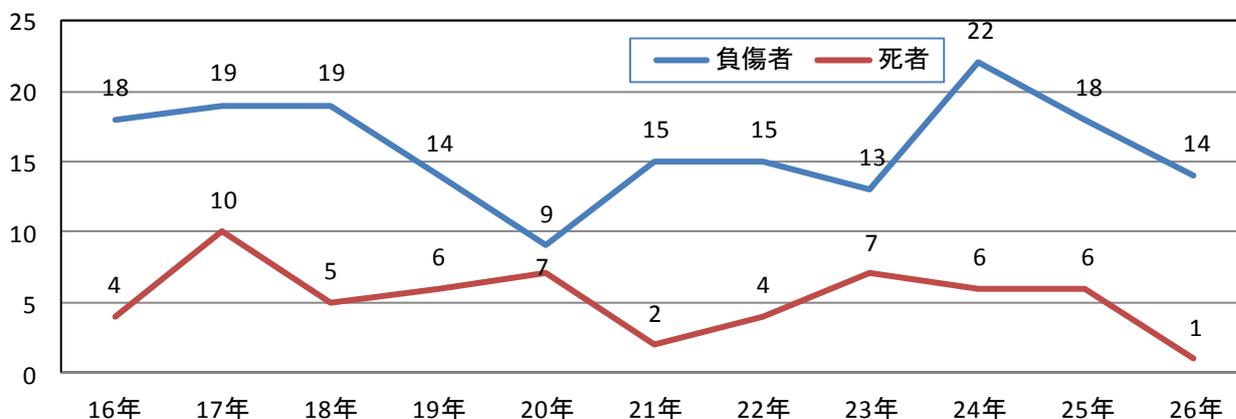
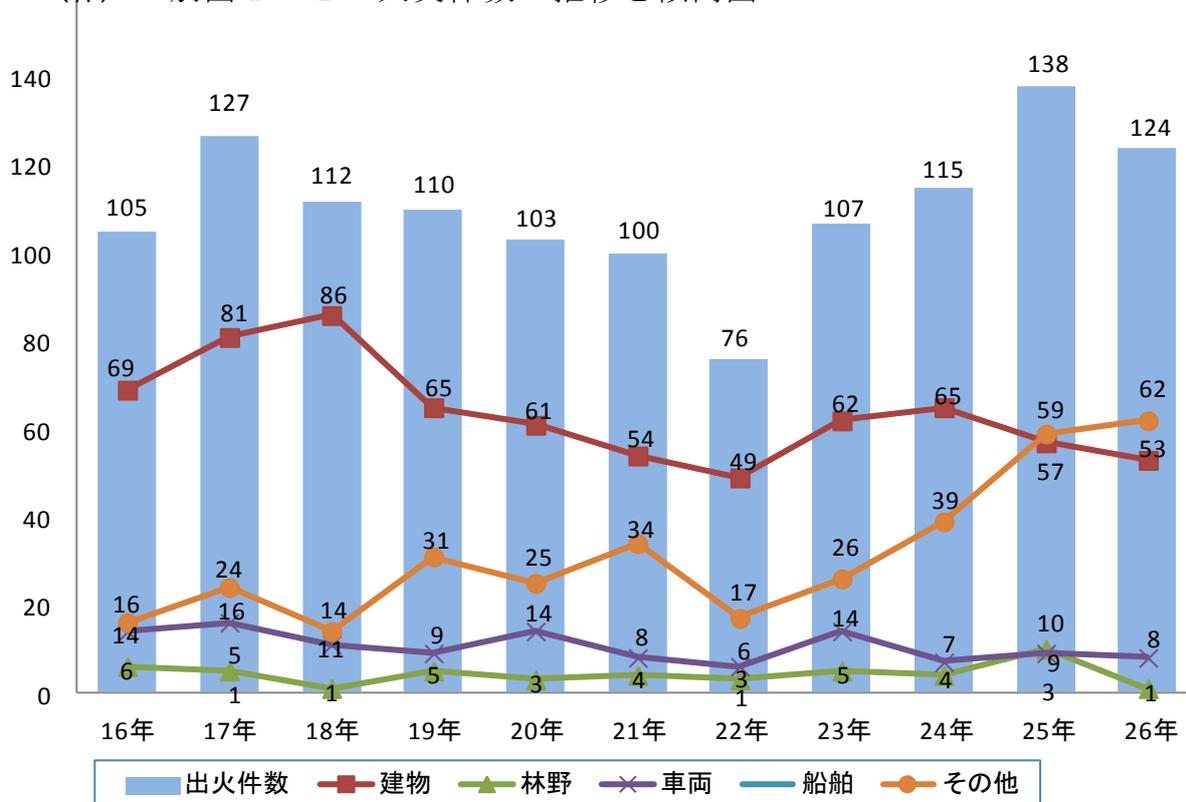
この10年間の出火件数をみると、76件を記録した平成22年以降増加傾向となっていました。平成26年中の火災件数は124件と前年に比べ14件(10%)の減少となりました。

また、火災による死者数は過去10年間の平均は5.7人です。

平成26年は死者が1人と過去10年間で最も少なくなりました。

(別図I-1、別表I-1参照)。

160(件) 別図I-1 火災件数の推移と傾向図



別表 I - 1 火災統括表

区 分 (単 位)	平成16年	平成25年	平成26年	増 減	増 減 率
出火件数	105	138	124	△ 14	△ 10.1
建物火災	69	57	53	△ 4	△ 7.0
林野火災	6	10	1	△ 9	△ 90.0
車両火災	14	9	8	△ 1	△ 11.1
船舶火災		3	0	△ 3	△ 100.0
その他火災	16	59	62	3	5.1
焼損棟数 (棟)	103	88	73	△ 15	△ 17.0
全 焼	27	28	24	△ 4	△ 14.3
半 焼	12	3	10	7	233.3
部 分 焼	33	31	23	△ 8	△ 25.8
ぼ や	31	26	16	△ 10	△ 38.5
建物焼損床面積 (㎡)	5,900	2,740	3,921	1,181	43.1
建物焼損表面積 (㎡)	300	250	2,005	1,755	702.0
林野焼損面積 (a)	30	143	6	△ 137	△ 95.8
死 者 (人)	4	6	1	△ 5	△ 83.3
負傷者 (人)	18	18	14	△ 4	△ 22.2
り災世帯数 (世帯)	56	46	33	△ 13	△ 28.3
全 損	11	12	12	0	0.0
半 損	6	3	5	2	66.7
小 損	39	31	16	△ 15	△ 48.4
り災人員 (人)	190	130	85	△ 45	△ 34.6
損 害 額 (千円)	254,660	108,628	181,174	72,546	66.8
建物火災	249,412	102,584	179,264	76,680	74.7
建物火災1件当たり損害額	3,615	1,800	3,382	1,582	87.9
林野火災	5	446	0	△ 446	△ 100.0
車両火災	5,243	4,315	743	△ 3,572	△ 82.8
船舶火災		71	0	△ 71	△ 100.0
その他火災		1,212	1,167	△ 45	△ 3.7
爆 発		0	0	—	—
出 火 率 (件/万人)	4.19	5.69	5.24	△ 0.45	—

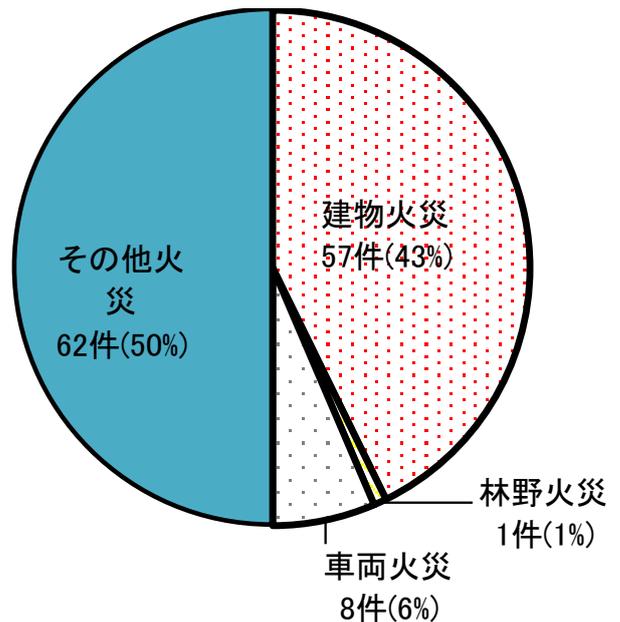
2 出火状況

別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率

(1) 建物火災は火災全体の43%

総出火件数124件について、その構成比率をみると、その他火災が全体の50%で最も高い比率を占め、その次に建物火災が43%となっています。

(別図 I - 2 参照)



(2) 建物火災1件当たりの損害は増加、焼損面積は減少

建物火災の1件当たりの損害額は前年比の88.5%増加し、焼損面積も43%の増加となりました。

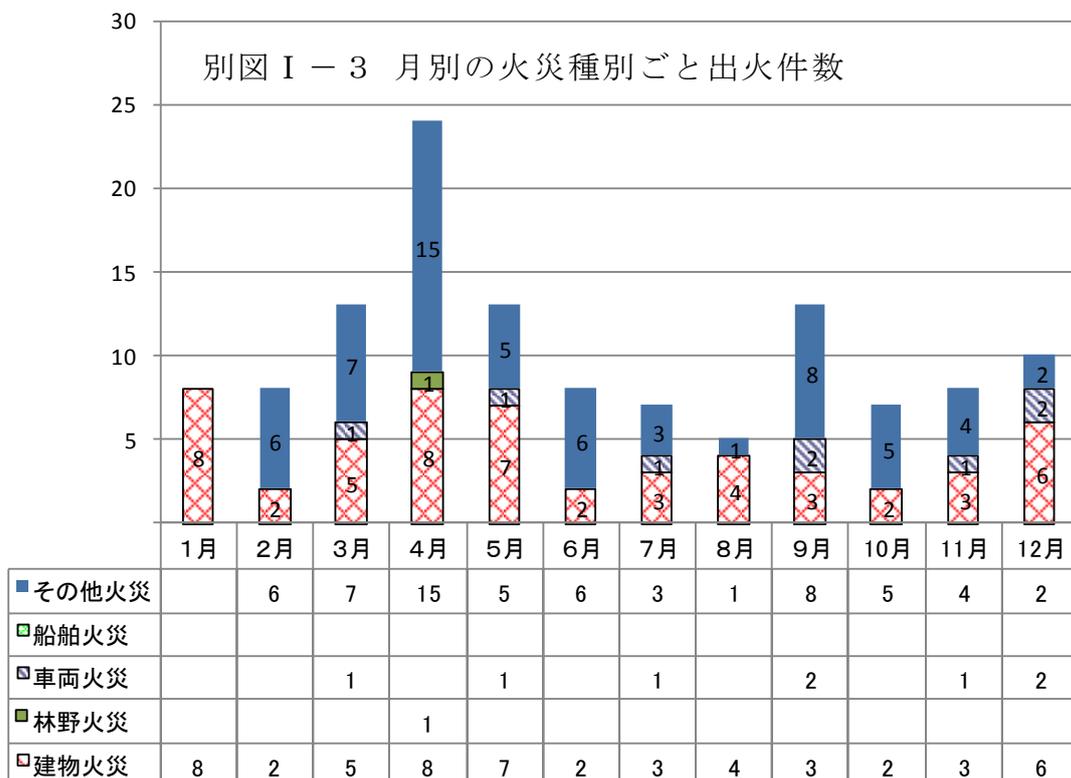
(別表 I - 1 参照)

(3) その他火災は2月から6月の間に多く発生

月別の火災種別ごとの出火件数をみると、その他火災については62件のうち4月に15件発生しています。

建物火災は1月・4月の8件が最多でした。また、2月、6月、10月の2件が最小となっています。

(別図 I - 3 参照)

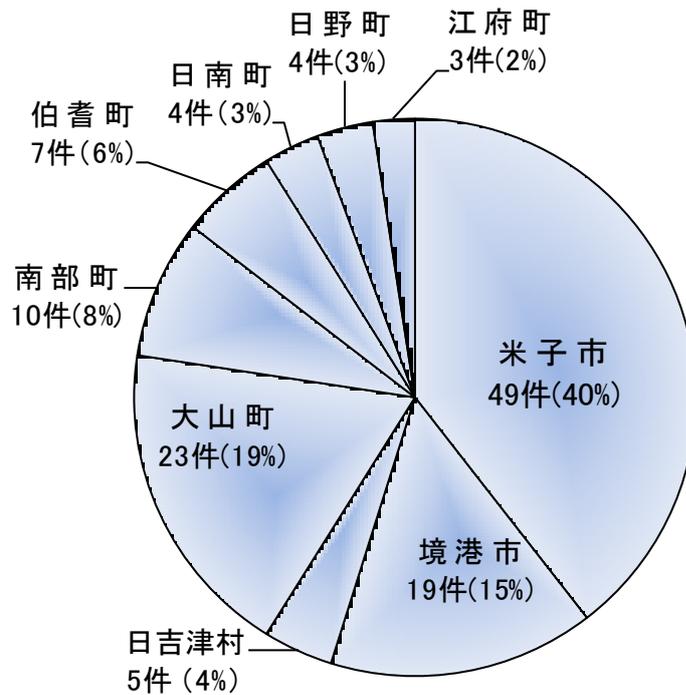


(4) 市町村別火災状況

火災件数を市町村別で見ると、米子市が最も多く49件(40%)、次いで大山町23件(19%)、境港市の19件(15%)となっています。最も少なかったのは江府町の3件です。

(別図 I - 4、別表 I - 3、別表 I - 4 参照)

別図 I - 4 市町村別火災件数と構成比



3 火災による死傷者の状況

(1) 死者の状況

火災による死者数は1人で、前年から5人の減少となりました。

(2) 負傷者の状況

負傷者は14人で前年に比べ4人(22%)減少しました。

負傷者のうち7人(50%)が建物火災で発生し、また、その他火災でも5人が発生しています。(別表 I - 2 参照)

別表 I - 2 火災種別死傷者発生状況

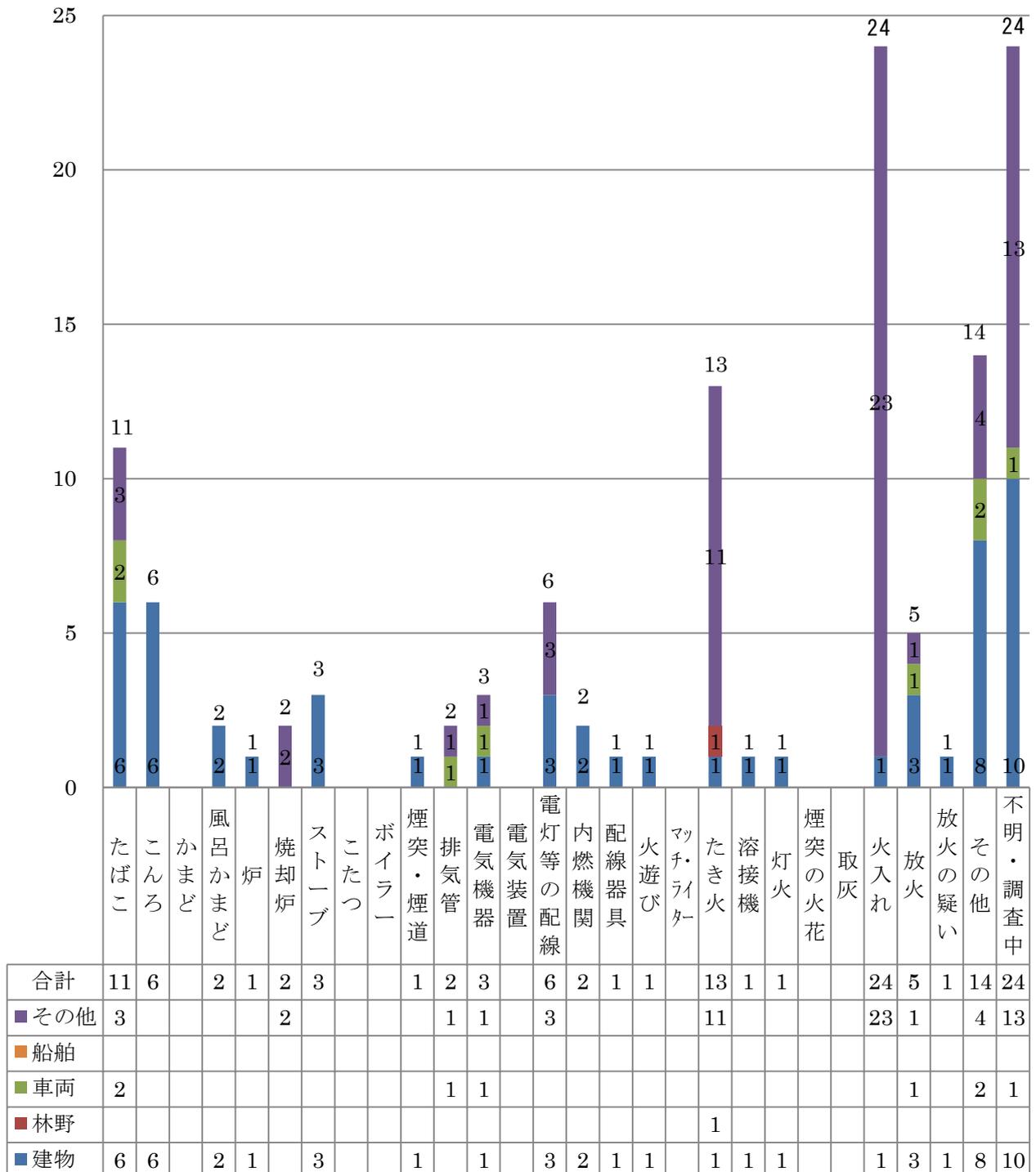
	合計	建物火災						車両火災	林野火災	その他火災
		小計	住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	その他			
死者	1	0							1	
死者(0~5歳)	0	0								
死者(6~64歳)	0	0								
死者(65歳~)	1	0							1	
負傷者	14	7	4				3	1	5	

4 出火原因

出火件数 124 件の出火原因を見ると、火入れが 24 件（19%）、次いでたき火 13 件（10%）、たばこ 11 件（9%）、となっています。

建物火災の主な原因をみると、たばこ、こんろ（各 6 件）など、火気の取り扱いの不注意や不始末から発生しています。（別図 I-5 参照）

別図 I-5 火災種別ごとの火災原因



別表 I - 3

市町村別火災状況

(平成26年1月～平成26年12月)

市町村名	火災件数				焼損面積			焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死傷者		損害額 (千円)				
	合計	前(年)内件数は	建物	林野	車両	船舶	その他				床面積 m ²	表面積 m ²		林野 a	死者	負傷者	
																30日死者	負傷者
米子市	49	(55)	22		3		24	645	56		1		5	18,509			
境港市	19	(23)	8		2		9	162	1,790				3	3,311			
日吉津村	5	(0)	1		1		3	4						26			
大山町	23	(20)	12		2		9	1,657	8				2	74,982			
南部町	10	(15)	5				5	598	22				1	56,136			
伯耆町	7	(12)		1			6						2				
日南町	4	(6)	3				1	343	128				1	11,273			
日野町	4	(3)	1				3	478	1					12,242			
江府町	3	(4)	1				2	34						4,695			
合計	124	(138)	53	1	8	62	3,921	2,005	6	85	1	14	181,174				
前年同期管内合計	138		57	10	9	3	2,740	250	143	130	6	18	108,628				

出火原因 (管内合計)

出火原因	平成26年	平成25年
合計	124	138
たばこ	11	9
こんろ	6	7
かまど		
風呂	2	4
炉	1	2
焼却炉	2	2
ストーブ	3	2
こたつ		
ボイラー		
煙突	1	
排気管	2	4
電気機器	3	
電気装置		2
電灯配線	6	3
内燃機関	2	
配線器具	1	3
火あそび	1	3
マッチ等		2
たき火	13	13
溶接機器	1	2
灯火	1	1
衝突火花		
取灰		2
火入れ	24	35
放火	5	4
放火疑	1	5
その他	14	19
不明・調査中	24	16

別表 I - 4

	平成26年				平成25年				平成24年				平成23年				平成22年											
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他				
米子市	49	22		3		24	55	28	1	1	25	66	42	4	4	20	52	35		4	4	13	35	24	2	3	1	5
境港市	19	8		2		9	23	12	2	3	6	13	6	1	6	6	18	9		3	3	6	7	4		1	2	
日吉津村	5	1		1		3	0					2	1	1			1			1			1				1	
大山町	23	12		2		9	20	8	1	2	9	16	6	1	9	9	12	4	1	5	5	2	15	9			6	
南部町	10	5				5	15	2	4	1	8	5	3	1	1	1	5	3	1			1	10	7	1		2	
伯耆町	7		1			6	12	5	1	1	6	6	2	2	2	2	4	2		1	1	1	3	3				
日南町	4	3				1	6	2	2	1	1	2	2				8	6	1			1	0					
日野町	4	1				3	3		1		2	4	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	1		1		
江府町	3	1				2	4	2	2		2	1	1				4	2	1			1	3	1		1	1	
合 計	124	53	1	8		62	138	57	10	9	3	115	65	4	7	39	107	62	5	14	26	76	49	3	6	1	17	

Ⅱ 救急概況

(平成26年1月～12月)

1 救急出動件数、救急搬送状況

平成26年中の救急出動件数は、前年に比べて18件増の10,036件、搬送人員は21人増の9,361人で、件数、人員ともに過去最多となりました。

(別図Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3参照)

2 市町村別救急活動状況

境港市、大山町、伯耆町は減少し、他市町村では増加となりました。特に日野町の出場件数、搬送人員が大幅に増加となりました。

(別図Ⅱ-4参照)

3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が4,611人(49.3%)で最も多く、次いで軽症が3,514人(37.5%)となっています。

(別図Ⅱ-5参照)

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が5,682人(60.7%)と最も多くなっています。

(別図Ⅱ-6参照)

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ3,547件(35.3%)、3,229人(34.5%)と最も多くなっています。

(別図Ⅱ-7参照)

6 月別救急活動状況

月別の出動件数は、12月が975件(9.7%)、続いて1月の885件(8.8%)となっています。

搬送人員は、12月が975人(10.4%)で最も多く、続いて7月の824人(8.8%)となっています。

(別図Ⅱ-8参照)

7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は7分42秒で前年より1秒の短縮、平均収容所要時間は35分48秒で前年より49秒短縮しました。

(別図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者262人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、150人(57%)でした。

(別図Ⅱ-11参照)

9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者262人のうち救急救命士による高度救命処置を200人に行い、そのうち21人に回復が見られました。

(別図Ⅱ-12、Ⅱ-13参照)

10 救急講習件数の推移

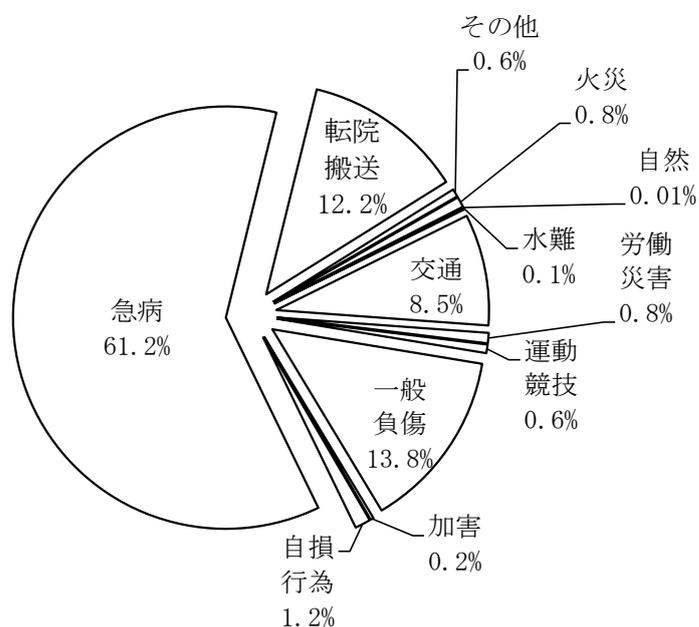
救急講習には、毎年約10,000人以上の方が受講され、圏域住民の応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

(別図Ⅱ-14、Ⅱ-15、別表Ⅱ-1参照)

11 市町村別救急活動の推移

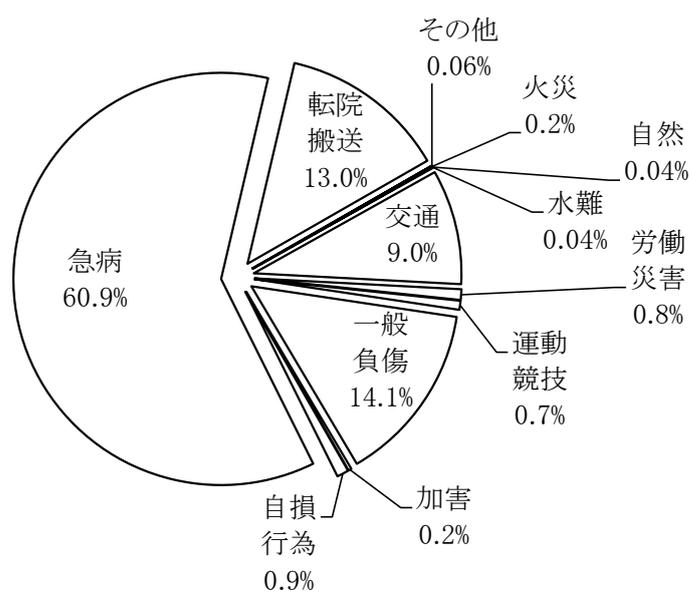
(別表Ⅱ-2参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



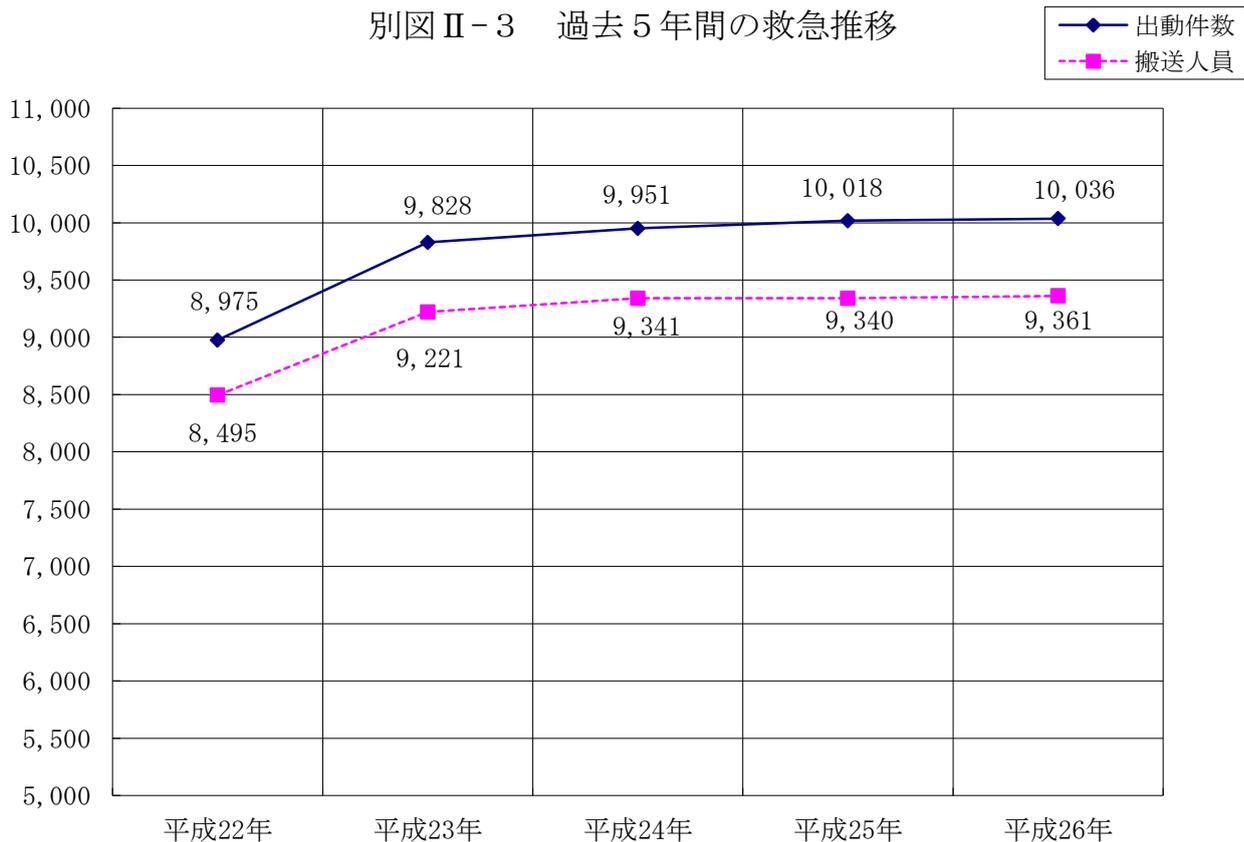
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	81	4	12	856	80	66	1,385	24	119	6,120	1,228	61	10,036

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

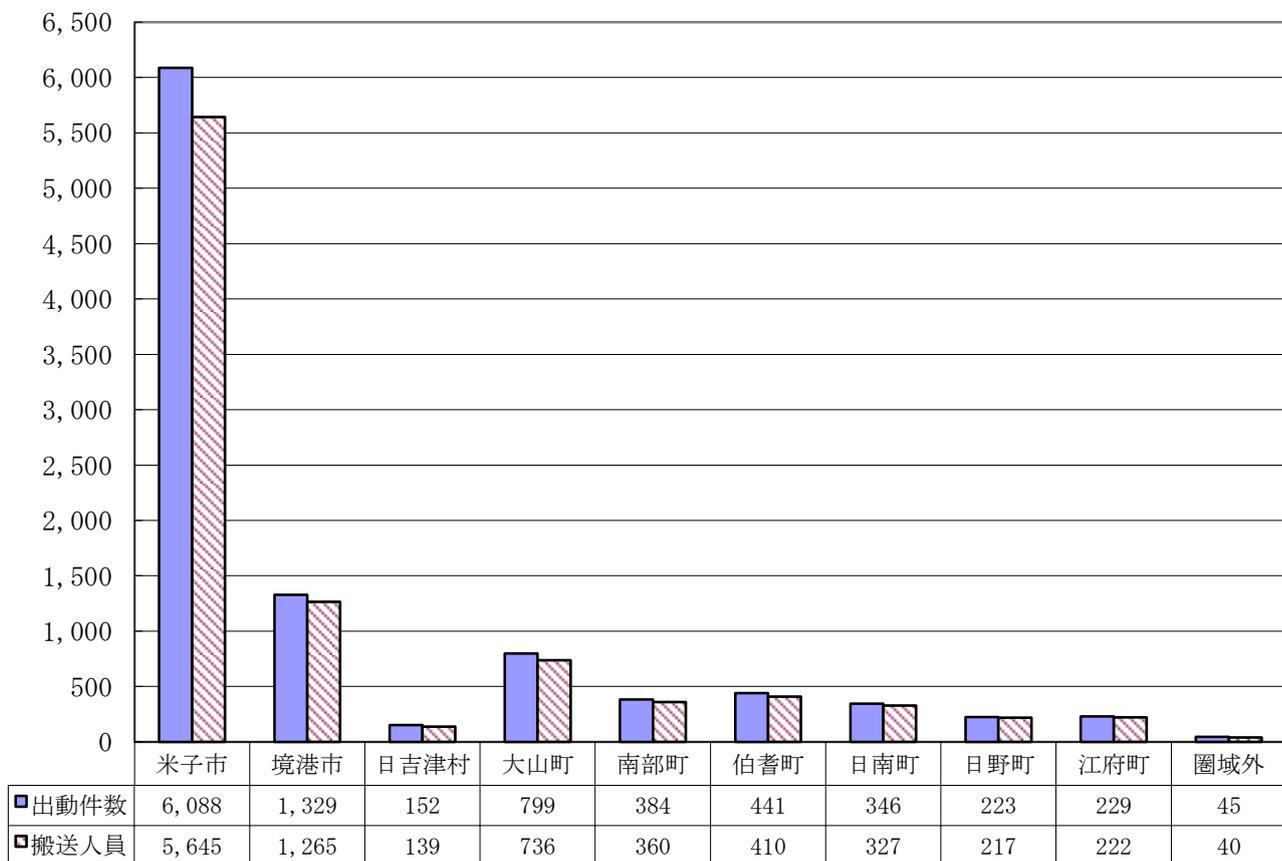


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	11	0	5	843	78	66	1,324	23	86	5,705	1,220	0	9,361

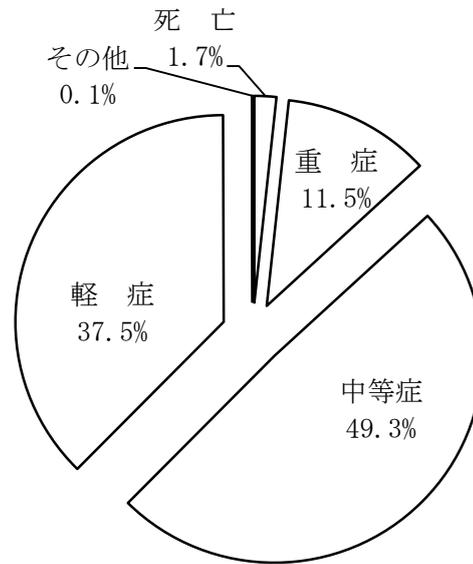
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

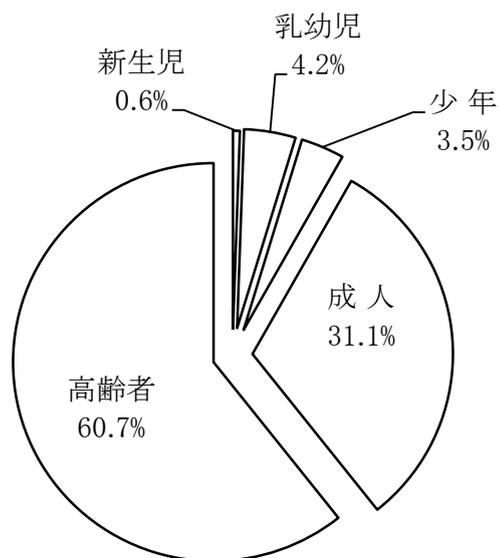


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



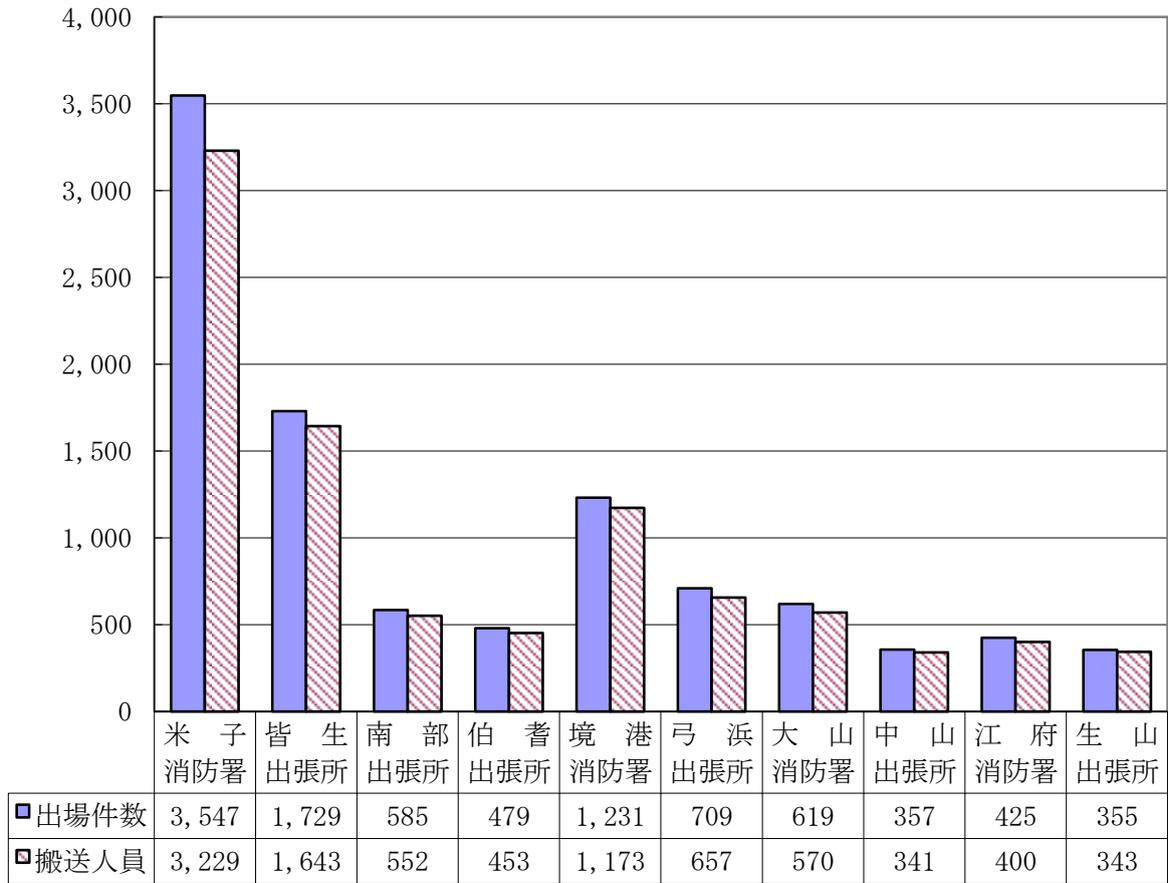
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	159	1,072	4,611	3,514	5	9,361

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

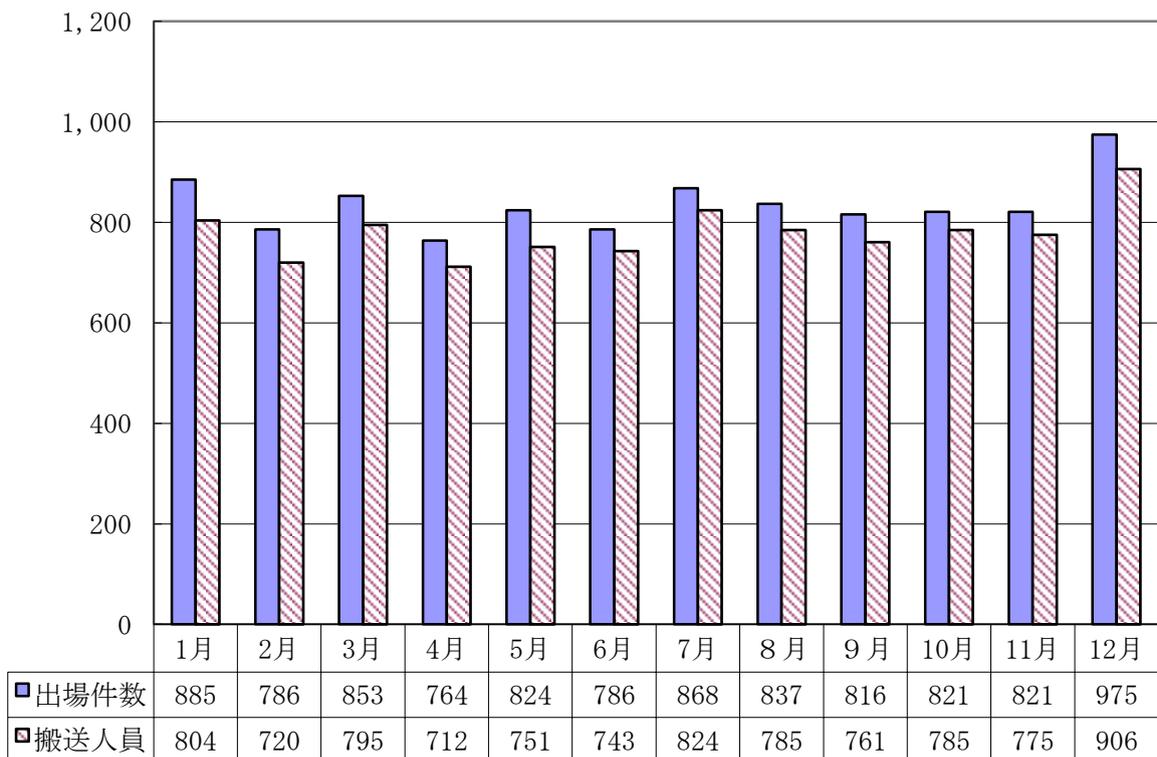


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	52	389	327	2,911	5,682	9,361

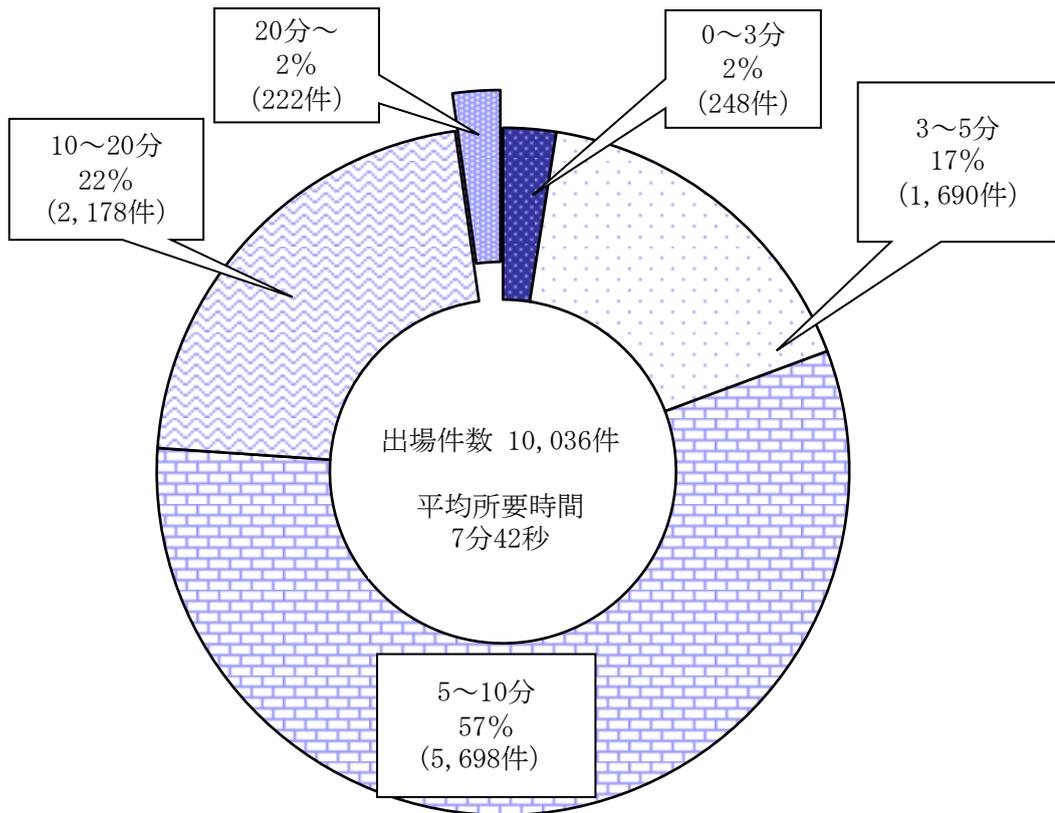
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



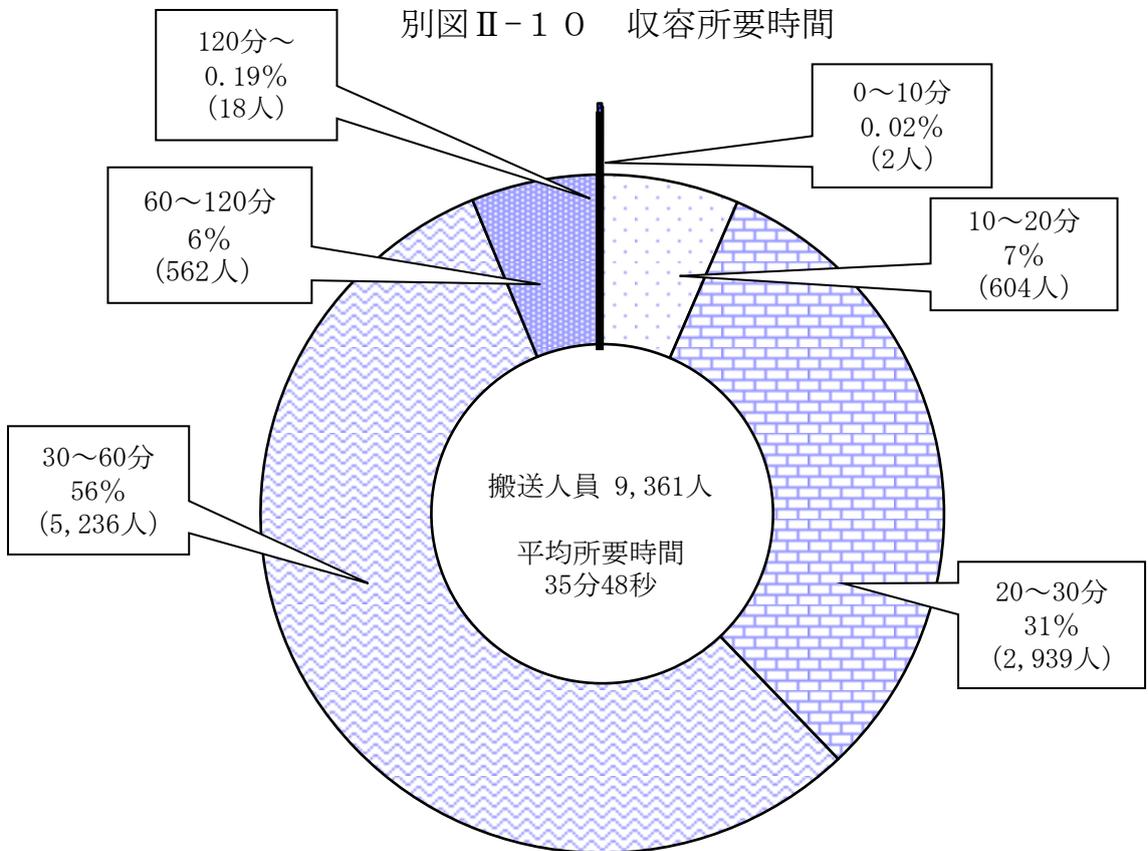
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



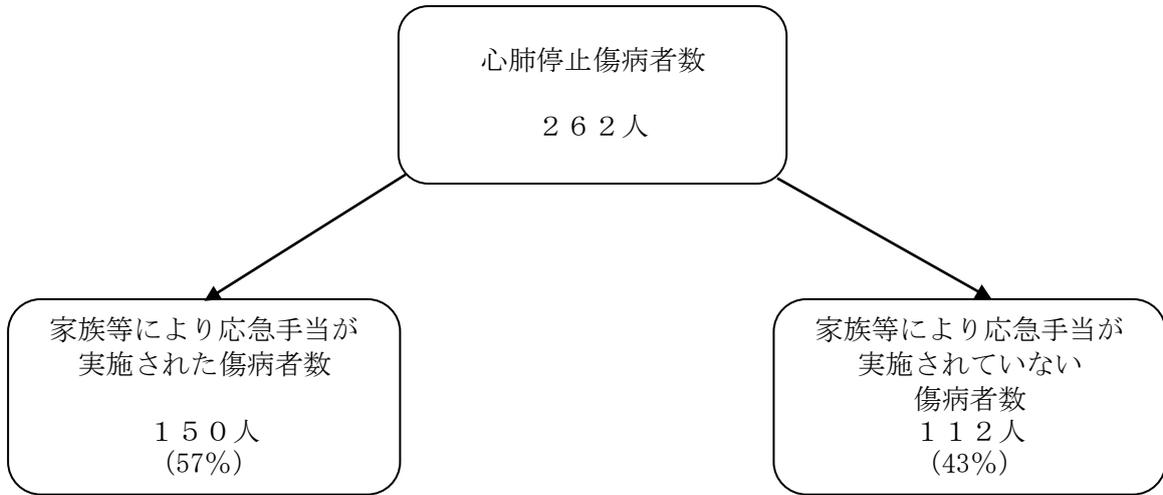
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



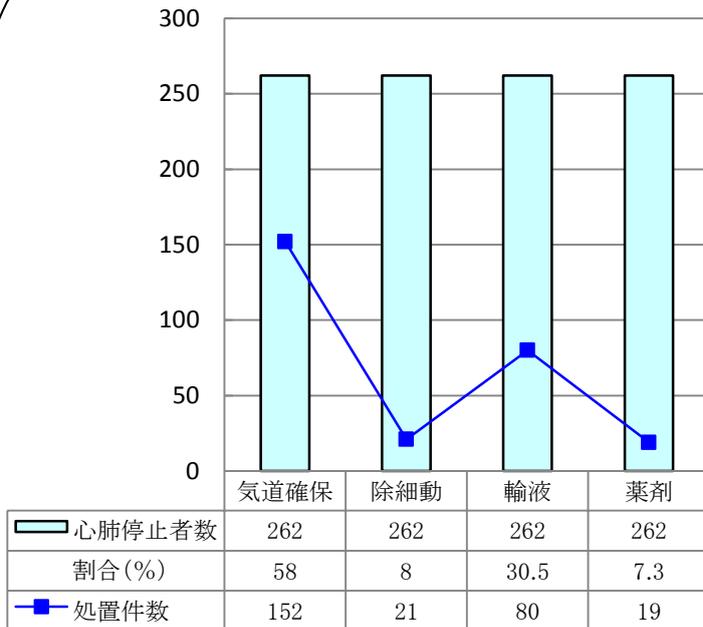
別図Ⅱ-10 収容所要時間



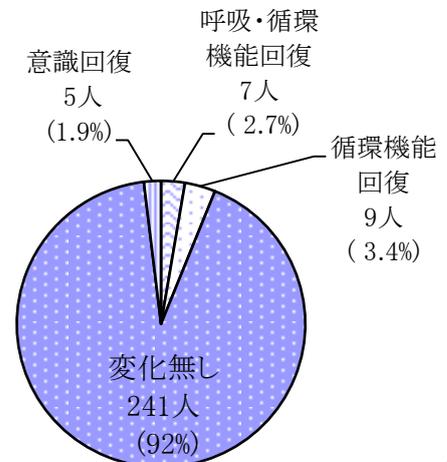
別図Ⅱ-11 応急手当実施状況



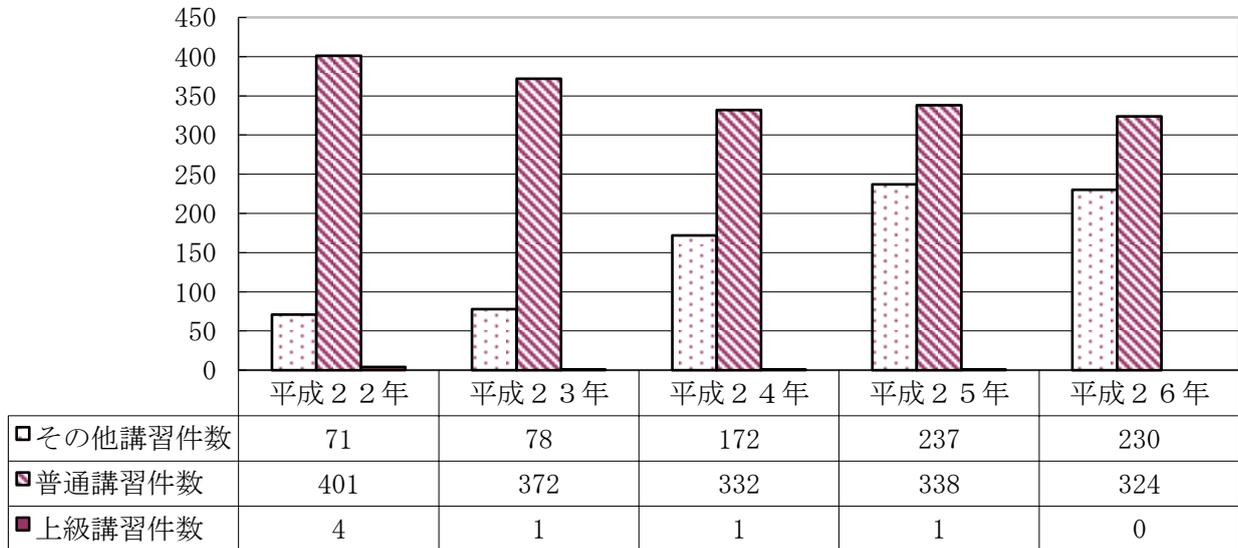
別図Ⅱ-12
高度救命処置状況



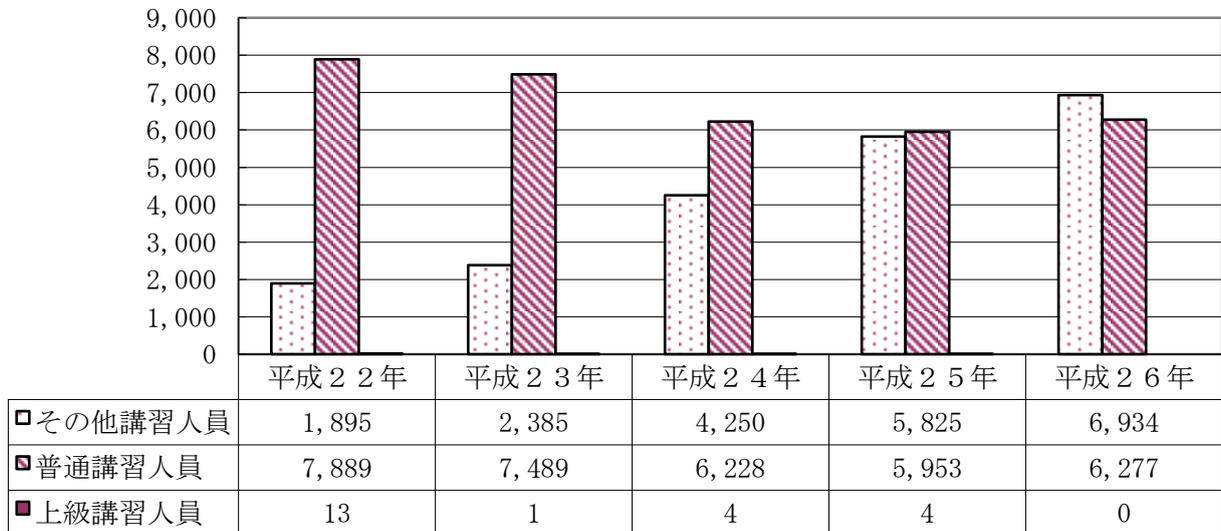
別図Ⅱ-13
医師引き継ぎ時の状況



別図Ⅱ－14 過去5年間の救急講習件数推移



別図Ⅱ－15 過去5年間の救急講習人員推移



別表Ⅱ－1 応急手当指導員・普及員の養成

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
応急手当指導員	0	0	0	3	0
応急手当普及員	15	0	1	0	0

別表Ⅱ－2 過去5年間の市町村別救急件数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
米子市	5,407	5,817	6,092	6,028	6,088
搬送人員数					
境港市	5,054	5,390	5,668	5,551	5,645
搬送人員数					
日吉津村	1,143	1,357	1,344	1,356	1,329
搬送人員数					
大山町	1,103	1,283	1,292	1,294	1,265
搬送人員数					
南部町	145	156	119	127	152
搬送人員数					
伯耆町	141	150	113	120	139
搬送人員数					
日南町	729	836	766	860	799
搬送人員数					
日野町	705	812	728	809	736
搬送人員数					
江府町	319	383	376	356	384
搬送人員数					
圏域外	297	365	360	331	360
搬送人員数					
合計	456	470	461	485	441
搬送人員数					
	442	447	435	474	410
搬送人員数					
	362	370	349	344	346
搬送人員数					
	348	355	332	317	327
搬送人員数					
	204	177	179	184	223
搬送人員数					
	201	169	161	172	217
搬送人員数					
	179	208	217	224	229
搬送人員数					
	174	200	209	217	222
搬送人員数					
	31	54	48	54	45
搬送人員数					
	30	50	43	55	40
搬送人員数					
	8,975	9,828	9,951	10,018	10,036
搬送人員数					
	8,495	9,221	9,341	9,340	9,361
搬送人員数					

Ⅲ 救助概況

(平成26年1月～12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は181件あり、そのうち交通事故が95件(52.5%)、火災が33件(18.2%)、その他の事故が32件(17.7%)、水難事故が8件(4.4%)、機械による事故が6件(3.3%)、建物等による事故が5件(2.8%)、風水害等自然災害が2件(1.1%)の順となっています。

(別図Ⅲ—1参照)

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は117件あり、そのうち交通事故が50件(42.7%)、火災が33件(28.2%)、その他の事故が22件(29.7%)、水難事故が4件(3.4%)、機械による事故4件(3.4%)、建物等による事故3件(2.6%)、風水害等自然災害が1件(0.9%)の順となっています。

(別図Ⅲ—2参照)

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は95人あり、そのうち交通事故が57人(60.0%)と最も多く、次いで、その他の事故が24人(25.3%)、機械による事故が4人(4.2%)、建物等による事故3人(3.2%)、水難事故が3人(3.2%)、火災が2人(2.1%)、風水害等自然災害が2人(2.1%)となっています。

(別図Ⅲ—3参照)

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が89件(49.2%)と最も多く、次いで大山消防署が38件(21.0%)、江府消防署が32件(17.7%)、境港消防署が22件(12.2%)の順となっています。

(別図Ⅲ—4参照)

5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数76件(42.0%)、次いで大山町が25件(13.8%)、境港市が14件(7.7%)、日南町が12件(6.6%)等の順となっており、他米子道、山陰道へも出動しています。

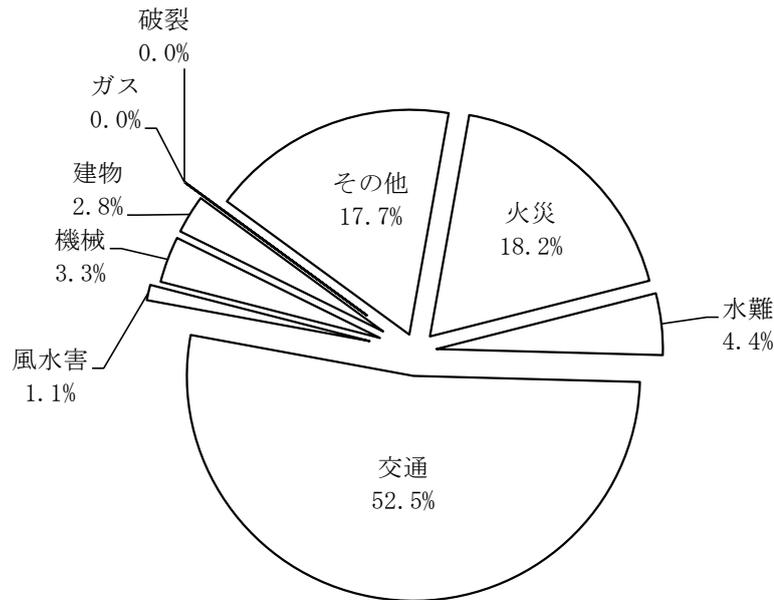
(別図Ⅲ—5参照)

6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、1月・5月が20件(11.0%)と最も多く、次いで3月が19件(10.5%)、8月が18件(9.9%)等の順となっています。

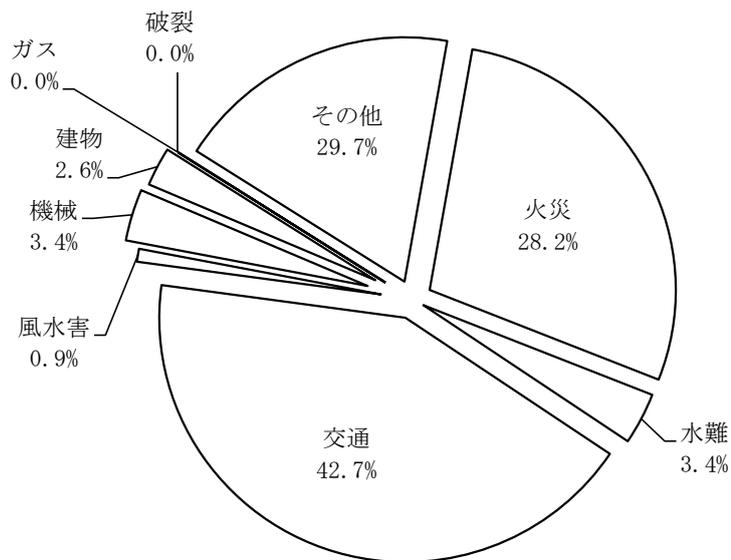
(別図Ⅲ—6参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



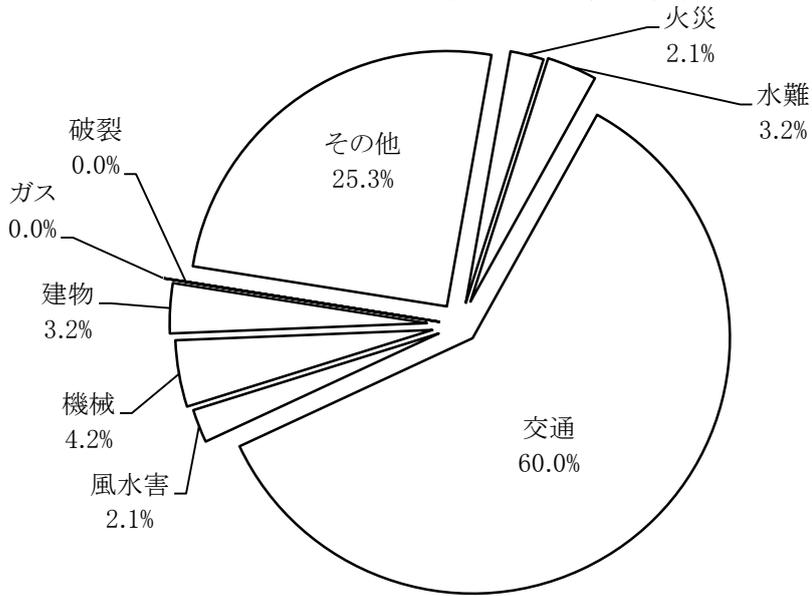
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	33	8	95	2	6	5	0	0	32	181

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



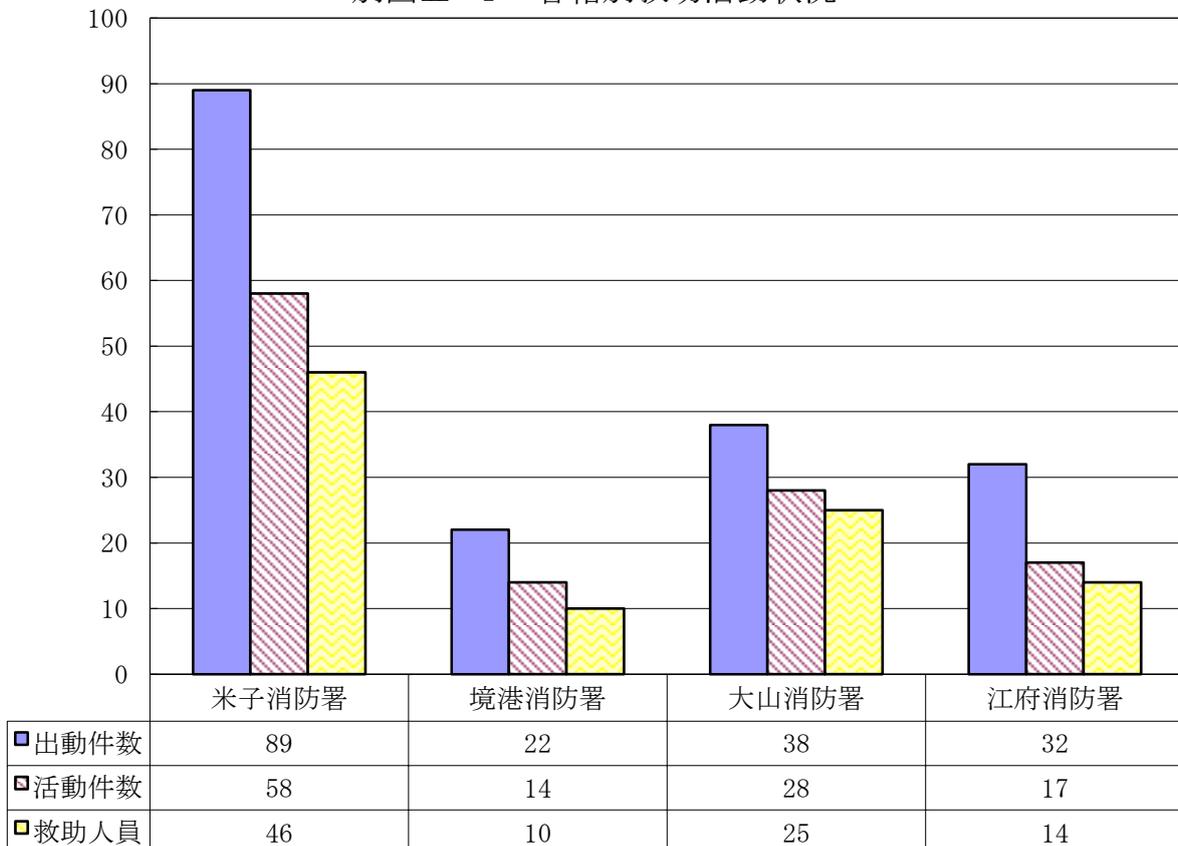
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	33	4	50	1	4	3	0	0	22	117

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

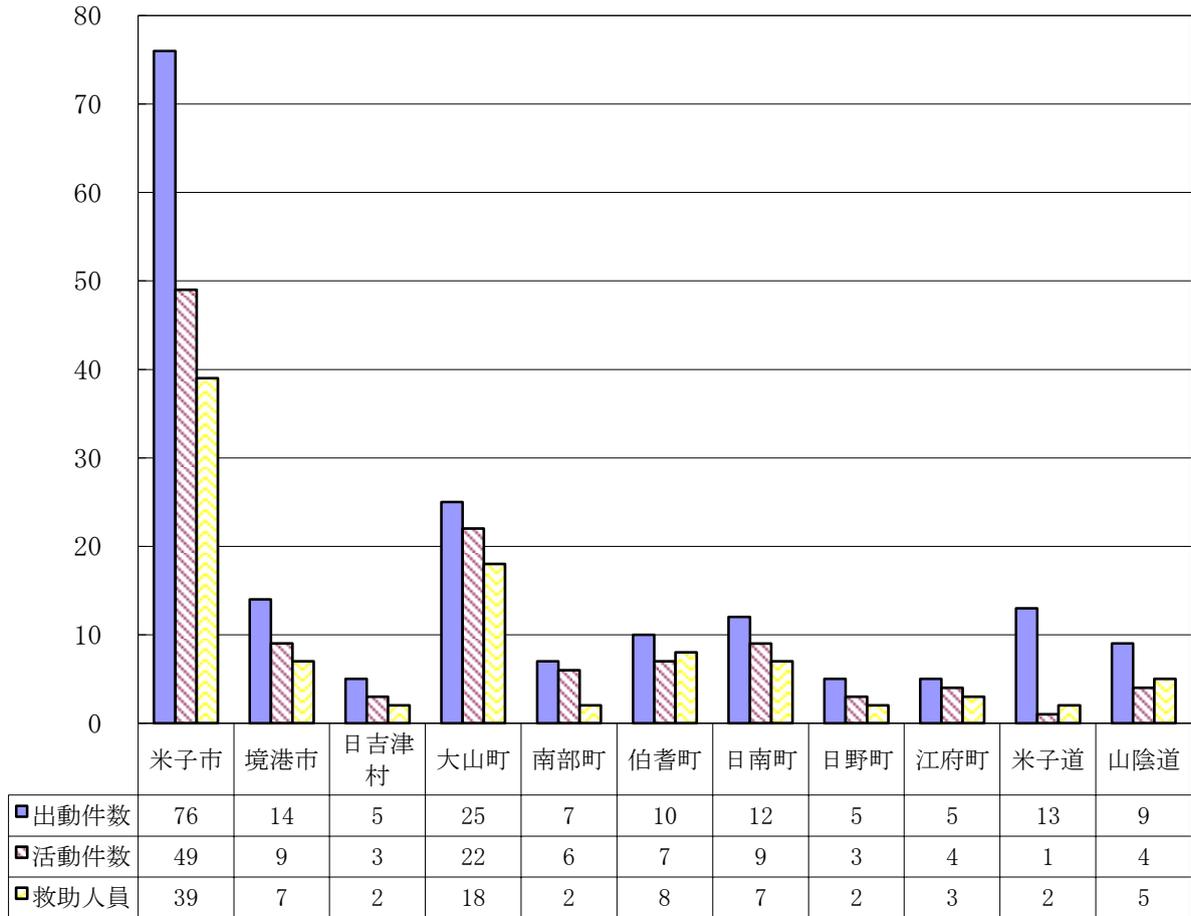


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	2	3	57	2	4	3	0	0	24	95

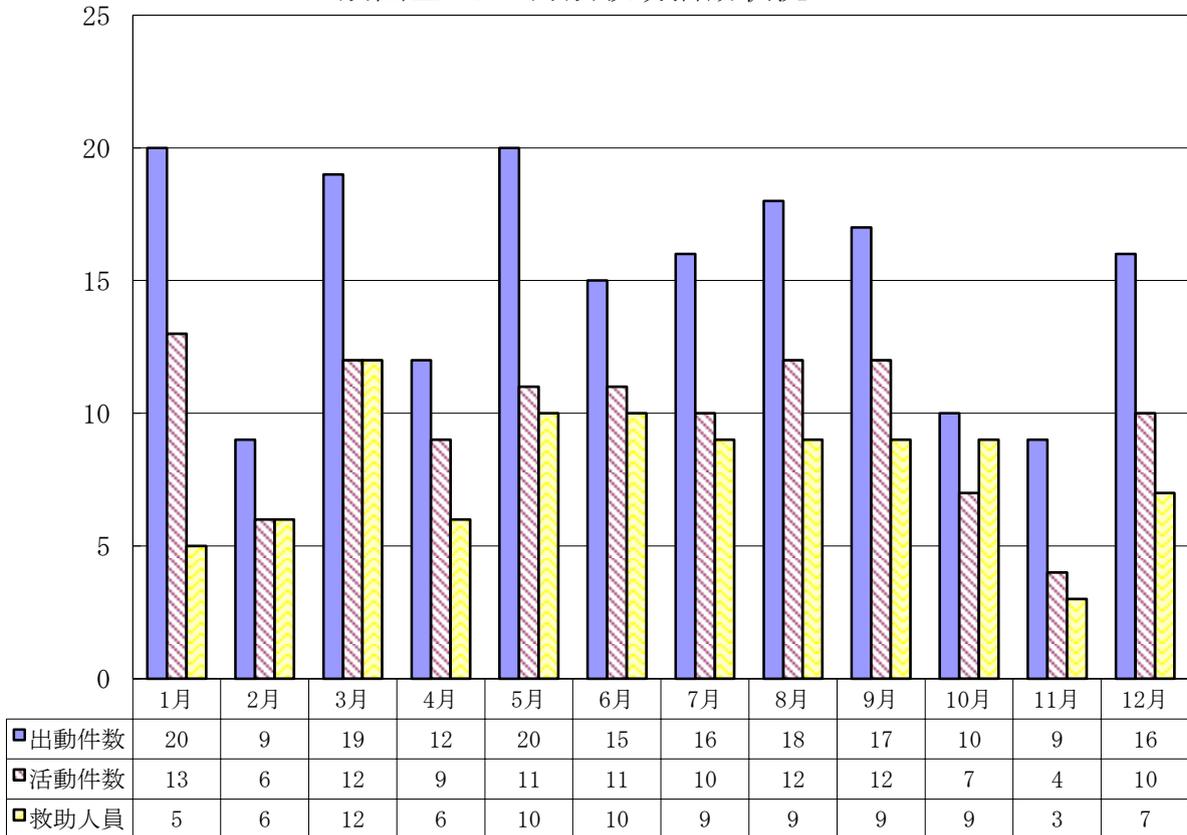
別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



別図Ⅲ-6 月別救助活動状況



IV 119番着信概況

(平成26年1月～12月)

1 着信件数の概況

平成26年中の119番通報は、総着信件数13,658件で昨年に比べ204件(1.5%減)少なくなっています。1ヶ月平均にすると約1,138件、1日平均では約37件の着信となります。通報種別としては、救急が最も多く9,647件(70.6%)でした。火災は225件(1.6%)、救助70件(0.5%)、警戒104件(0.8%)、病院などに関する問い合わせ等844件(6.2%)、間違い756件(5.5%)、悪戯と思われるものが114件(0.8%)、通報訓練等1,898件(13.9%)でした。(別表IV-1参照)

2 月別の119番着信状況

月別で着信件数の最も多かったのは12月の1,268件、最も少なかったのは2月の1,018件でした。救急通報で最も多かったのは12月の916件、最も少なかったのは4月の727件で、月平均約804件でした。火災通報で最も多かったのは4月の46件、最も少なかったのは11月の5件で、月平均約19件でした。(別表IV-2参照)

3 電話種別による119番着信状況

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定電話5,836件で163件の減少、IP電話3,397件で145件の増加、携帯電話4,425件で186件の減少でした。固定電話からの通報の減少、IP電話からの通報は増加傾向にあります。

災害別に電話種別による通報状況をみると、火災、救助、警戒など衆人に発見されやすいものについては携帯電話での通報比率が約62%と高く、救急など屋内での発生が多いものについては固定電話とIP電話での通報比率が約70%と高くなっています。(別表IV-3、IV-4参照)

4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は4,425件で、全着信件数の約32%でした。また、携帯電話からの問合せ、間違いなどの通報が多くみられます。

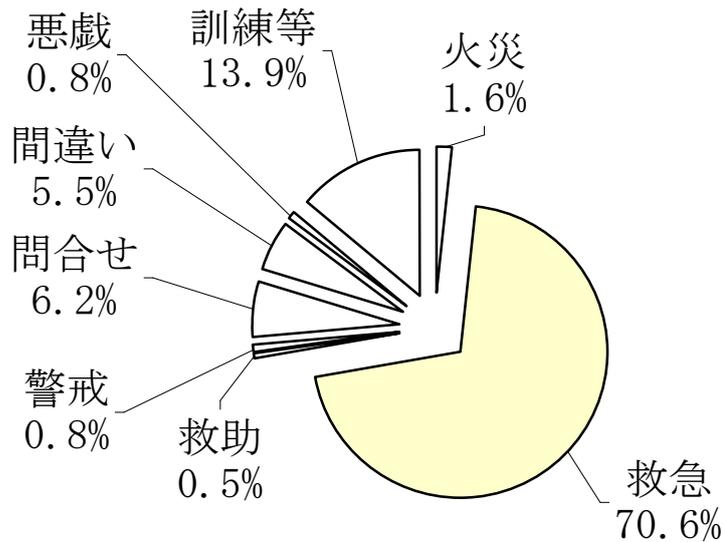
隣県などの管轄地区以外からの携帯電話による通報を、他の消防機関へ転送処理した件数は63件で、逆に他の消防機関から転送受信した件数は29件ありました。(別表IV-5、IV-6参照)

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別に119番通報の着信比率を見ると、一般的な活動時間帯(午前8時～午後9時台)では全体の約79%で、睡眠時間帯(午後10時～午前7時台)では約21%でした。(別図IV-7参照)

別表Ⅳ－1 119番着信件数

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
平成 22 年	159	8,663	54	102	1,206	769	107	1,662	12,722
平成 23 年	300	9,435	57	116	1,301	693	162	1,651	13,715
平成 24 年	199	9,564	74	89	1,000	616	120	1,696	13,358
平成 25 年	217	9,708	72	129	1,124	817	126	1,669	13,862
平成 26 年	225	9,647	70	104	844	756	114	1,898	13,658

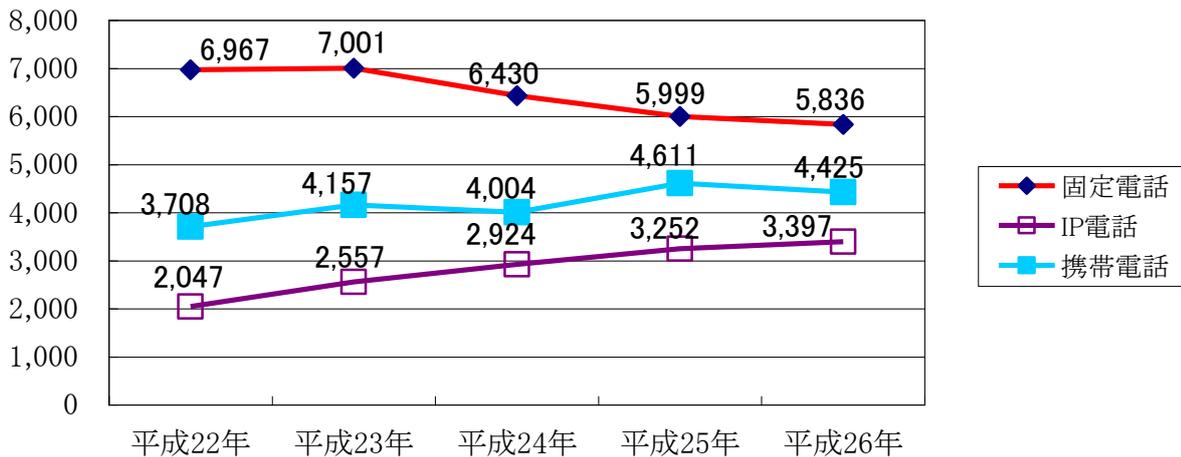


別表Ⅳ－2 月別119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒等	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	27	836	4	7	73	65	4	102	1,118
2月	7	766	4	9	62	51	8	111	1,018
3月	33	827	6	6	85	59	21	201	1,238
4月	46	727	2	9	62	68	11	123	1,048
5月	23	801	4	5	80	63	5	153	1,134
6月	11	765	7	5	42	42	5	184	1,061
7月	9	820	6	6	61	79	0	141	1,122
8月	8	809	6	17	71	60	9	105	1,085
9月	26	786	7	9	85	51	11	229	1,204
10月	9	803	9	11	73	85	18	177	1,185
11月	5	791	6	10	67	66	12	220	1,177
12月	21	916	9	10	83	67	10	152	1,268
合計	225	9,647	70	104	844	756	114	1,898	13,658
月平均	18.8	803.9	5.8	8.7	70.3	63.0	9.5	158.2	1,138.2

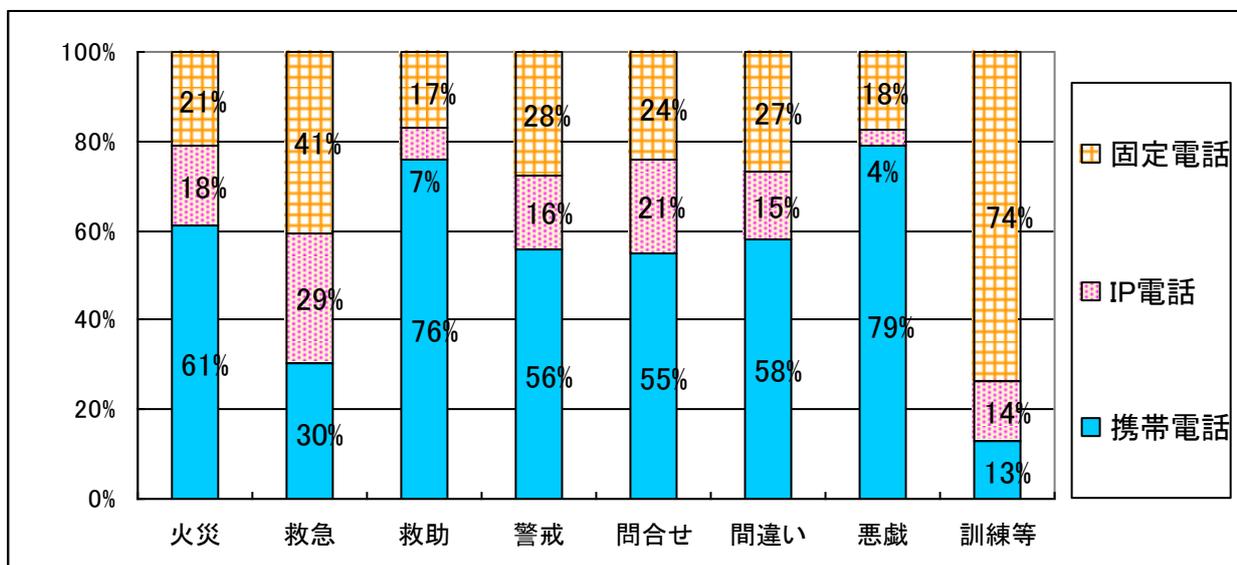
別表Ⅳ－3 電話種別による119番着信件数の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
固定電話	6,967	7,001	6,430	5,999	5,836
IP電話	2,047	2,557	2,924	3,252	3,397
携帯電話	3,708	4,157	4,004	4,611	4,425
合計	12,722	13,715	13,358	13,862	13,658



別表Ⅳ－4 電話種別による119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定電話	47	3,924	12	29	205	201	20	1,398	5,836
IP電話	40	2,784	5	17	174	116	4	257	3,397
携帯電話	138	2,939	53	58	465	439	90	243	4,425
合計	225	9,647	70	104	844	756	114	1,898	13,658



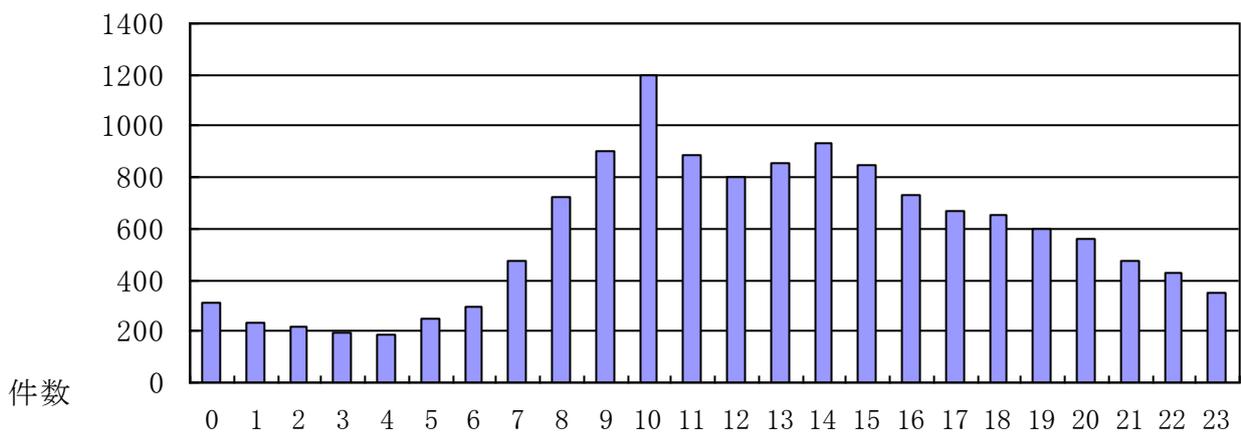
別表Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から転送受信した件数	総着信件数	
4,396	29	4,425	63

別表Ⅳ－６ 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松江	0	12	0	12	松江	1	33	2	36
安来	1	5	1	7	安来	1	15	1	17
雲南	0	2	0	2	雲南	0	1	0	1
東部	0	2	0	2	東部	0	1	1	2
中部	1	2	2	5	中部	0	3	1	4
新見	0	1	0	1	新見	0	2	0	2
真庭	0	0	0	0	真庭	0	1	0	1
津山	0	0	0	0	津山	0	0	0	0
備北	0	0	0	0	備北	0	0	0	0
合計	2	24	3	29	合計	2	56	5	63

別図Ⅳ－１ 時間帯別着信状況



もういいかい 火を消すまでは まあただよ

平成26年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生五丁目8番5号	683-0003	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3136	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記をお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救助…………… 警防課消防第一係	0859-35-1959
救急…………… 警防課救急室	0859-35-1958
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成27年2月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)